

令和元年 10 月 1 日

第 6 学年の保護者の皆様

札幌市立北光小学校
校長 嶋 本 剛

全国学力・学習状況調査の結果について

清秋の候、保護者の皆様におかれましてはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。また、日頃より本校の教育活動につきましてご理解とご協力をいただき心から感謝申し上げます。

さて、第 6 学年児童を対象に 4 月に実施されました「全国学力・学習状況調査」について、本校の傾向や課題を分析しましたのでお知らせします。

1. 全国学力・学習状況調査について

4 月 18 日、全国一斉に小学校第 6 学年と中学校第 3 学年の児童を対象に、「義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する」ことを目的に実施されました。

2. 「教科に関する調査」結果の分析について

下の表のように、国語、算数それぞれ 4 つの領域について、①と②を一体的に出題された問題に解答しました。

教科	国語				算数			
	話すこと 聞くこと	書く こと	読む こと	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	数と計算	量と測定	図形	数量関係
①	・身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容 ・実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能など							
②	・知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力などに関わる内容 ・様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力などに関わる内容など							

また、各教科について、区分ごと 4 つの領域それぞれの正答率を全国平均と比較し、以下の比較値に照らして表記しています。(全市共通)

基準	全国平均 +3.1%以上	全国平均 +3.0%以内	全国平均	全国平均 -3.0%以内	全国平均 -3.1%以下
表記	上回っている	ほぼ同程度であるが、やや上回っている	ほぼ同程度	ほぼ同程度であるが、やや下回っている	下回っている

3. 「生活習慣や学習習慣に関する質問紙調査」結果分析について

全国平均と比較し、特徴のある結果についてお知らせしています。

4. そのほか

本校の全国学力・学習状況調査の結果につきましては、本校ホームページでもご覧いただけます。今回の結果は、今後の指導の在り方に生かすとともに、次年度の『学ぶ力』育成プログラムに反映していきます。なお、本校 6 年生児童の個人の結果については、教育相談の際に配付します。

国語

教科に関する調査の結果概要及び改善の方向等について

本校の概要

【領域】

「話すこと・聞くこと」

○全国平均を上回っている。

「書くこと」

○全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている。

「読むこと」

○全国平均を上回っている。

「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」

△全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。

今回の調査における課題

○情報を相手に分かりやすく伝えるための記述の工夫を捉えたり、目的や意図に応じて自分の考えの理由を明確にし、まとめて書いたりすること。

○漢字を文の中で正しく使うこと。

改善の方向

○図表やグラフを用いる目的や効果を理解し、相手や目的に応じて適切な事実を取り上げるとともに、事実と考えとを区別し、両者の関係を捉えて文章を書くことができるようにする学習活動の充実。

○漢字のもつ意味を考えながら、文や文章の中での正しい使い方を習得できるようにする学習活動の充実。

算数

教科に関する調査の結果概要及び改善の方向等について

本校の概要

【領域】

「数と計算」

○全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている。

「量と測定」

○全国平均を上回っている。

「図形」

○全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている。

「数量関係」

○全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている。

今回の調査における課題

○計算の順序についてのきまりを理解し、加法と乗法の混合した整数と小数の計算をすること。
(例) $6 + 0.5 \times 2$ の計算

○図形の性質や構成要素に着目し、ほかの図形を構成すること

○複数のグラフから資料の特徴や傾向を読み取り、それらを関連付けて判断の理由を言葉や数を用いて記述できること。

改善の方向

○具体的な場面と関連付けながら四則を混合させたり、()を用いたりして一つの式に表す活動や、正答と誤答を比較することで、計算の順序によって式の意味が異なることに気付くような活動の充実。

○対辺が平行であるなどの図形の性質や、図形の構成要素である辺や角の大きさなどに着目して図形を捉える活動の充実。

○一つの資料からでは判断できない事柄について、資料の特徴や傾向を関連付けて考察する活動の充実。

質問紙調査

質問紙調査の結果概要及び改善の方向等について

58 個の質問に対して、児童が「そう思う」と、「どちらかと言えばそう思う」と回答した合計を「肯定的な回答」として、全国平均と比較し、本校の特徴的だった質問事項が以下です。

【全国と比較して肯定的な回答の割合が高いもの】して

質問番号	質問事項	本校	全国	全国平均差
32	あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていると思いますか。	88.9	74.0	+14.9%
34	道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいると思いますか。	88.9	80.9	+8.0
6	先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか。	93.3	86.1	+7.2%
11	学級みんなで話し合っただけで決めたことなどに協力して取り組み、うれしかったことがありますか。	91.1	84.1	+7.0%
30	授業で学んだことを、他の学習に生かしていますか。	88.9	82.8	+6.1%

【全国と比較して肯定的な回答の割合が低いもの】

質問番号	質問事項	本校	全国	全国平均差
23	今住んでいる地域の行事に参加している。	37.7	68.0	-30.3%
43	国語の授業で自分の考えを話したり書いたりするとき、うまく伝わるように理由を示したりするなど、話や文章の組み立てを工夫していますか。	48.9	68.5	-19.6%
41	国語の授業で学習したことを、普段の生活の中で、話したり聞いたり書いたり読んだりするとき活用しようとしていますか。	60.0	76.9	-16.9%
36	5年生までに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していたと思いますか。	46.7	62.5	-15.8%
4	家の人(兄弟姉妹を除く)と学校での出来事について話をしますか。	62.2	77.4	-15.2%

全体を通して

【国語】

「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の領域については、平均を上回っていますが、「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」については、全国平均とほぼ同程度であるがやや下回っています。今後は、「目的や意図に応じて、理由や根拠を明確にし、自分の考えをまとめたり表現したりすること」や「漢字を文の中で正しく使うこと」などの課題について、2ページの「改善の方向」に示したような学習活動の充実に努めて参ります。

【算数】

「数と計算」「量と測定」「図形」「数量関係」の全ての領域で、平均を上回っています。今後は、「計算の順序についてのきまりを理解し、加法と乗法の混合した整数と小数の計算をすること。」など、若干の課題があるものに対して、2ページの「改善の方向」に示したように実感的な理解を伴う学習の在り方も工夫して参ります。その他の項目についても、更なる充実を図れるように「改善の方向」を示しました。

【質問紙】

○地域の行事への参加について

「今住んでいる地域の行事に参加していますか(23)」については、「地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか(24)」について、55.5%が肯定的に捉えていることから、その意識を生かせるように、学校とご家庭が連携して、地域行事への参加の呼びかけを継続して行っていきましょう。

○授業についての質問

「国語の授業」や「5年生までに受けた授業」についての質問では、身に付けた知識・技能を活用することについて課題があると言えます。今後は、より課題探究的な学習を意識して授業改善に取り組み、「分かる・できる・楽しい授業づくり」の充実を図って参ります。

○「家の人と学校での出来事について話をしますか。」については、「さっぽろっこ『学び』のススメ まほうのかいわ」の更なる活用の充実を図り、学校と家庭とで子どもに寄り添い、伸びを認め、意欲を高める共感的・肯定的なメッセージを伝え、子どもの成長を促していきましょう。

「まほうのかいわ」で習慣づくりって、どうすればいいの？ 小学校編



子どもの「学ぶ力」や「健やかな身体」「豊かな心」は、学校だけで育まれるものではなく、家庭で過ごす時間も重要です。より良い習慣を身に付けるためには、子ども自身が意欲をもって取り組むことが重要ですが、それには学校と家庭の支えが欠かせません。学習習慣、運動習慣、生活習慣づくりに向けて、家庭では子どもにどんな声をかけていくとよいのでしょうか？

ま

学んだことを一緒に振り返りましょう。

お子さんが今、どんな学習やスポーツをしているのかについて、共有しましょう。「まほうのかいわ」は子どもの学びを「知る」ことからスタートです。

ほう

方法を一緒に考えましょう。

今すぐにでもできそうなことを一緒に考えてみましょう。その中から実際にやってみることをお子さん自身が決められるよう支えましょう。

の

伸びを認め、ほめましょう。

お子さんが自分の目標に向かって自ら動き、がんばる姿から、プラスの変化を見つけ、言葉で表しましょう。小さな努力や成長に気付いていることを示してあげましょ

かい

改善に向けて、生活を一緒に振り返りましょう。

お子さんは、今、何に困っているのでしょうか。子どもの困りをとらえ、うまくいかない原因やどうしたらよいかを子どもの目線で一緒に考えることから始めましょう。

わ

わからないこと、できないことに挑戦できるよう励ましましょう。

失敗も悩みも子どもの成長には欠かせません。お子さんが自信をもてないときこそ、温かい励ましの言葉が「やってみよう！」という意欲や乗り越える力につながります。



学習習慣づくりのための「まほうのかいわ」

ま

「今日は学校でどんな勉強をしたの?」「明日の勉強は?」などと聞き、「今日の勉強の復習を一緒にしようね」「明日の予習を一緒にしようね」「興味のある学習で家庭学習に取り組んでみたら」などの声をかけましょう。

ほう

「家庭学習の時間を一緒に決めようね」「テストの見直しをしようね」「一緒に読書をしようね」「何をやるかは自分で考えようね」「今度は一緒に〇〇を見に行ってみよう」などと声をかけましょう。

の

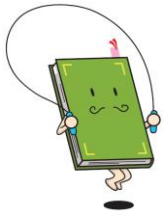
「毎日、家庭学習を頑張っているね」「文字が丁寧になったね」「本読みが上手になったね」「計算が速く正確にできてきたね」「〇〇なことにも興味をもてるようになったね」などと声をかけましょう。

かい

「今日勉強したノートをもう一度見てみようか」「どんなところがわからないの」「わからなかったところをもう一度考えてみようか」「テストで間違えたところをやり直そうね」などと声をかけましょう。

わ

「〇〇は難しいね」「わからないことやできないこともあるよ」「一緒に考えてあげるよ。あきらめないで挑戦してみようね」「今度は新しいことにも挑戦してみるといいね」などと声をかけましょう。



運動習慣づくりのための「まほうのかわ」

ま

「好きなスポーツは何か?」「体育でどんな学習しているの?」「休み時間はどんな運動をしているの?」「何が得意かな」「札幌のプロスポーツで好きなチームはあるかな」などと声をかけましょう。

ほう

「毎朝、ラジオ体操をやってみようね」「毎日柔軟運動をやってみようね」「縄跳びやジョギング、続けられそうなことを考えようね」「一緒にどんなことができるか調べてみようか」などと声をかけましょう。

の

「体が柔らかくなってきたね」「ジョギングの時間も長くなってすごいね」「縄跳びでいろいろな技ができるようになったね」「運動会での走り方が上手だったね」などと声をかけましょう。

かい

「一緒にジョギングをやってみようか」「うまくできない原因を一緒に考えてみようか」「運動のコツをいっしょにしらべてみようか」「長く続ける方法(時間・回数等)を一緒に考えようね」などと声をかけましょう。

わ

「縄跳びの新しい技に挑戦してみようね」「一緒に柔軟運動を続けてみようね」「一緒にスキーに行こうね」「いつもと違うスポーツに挑戦してみようか」「一緒にプロスポーツを観戦しに行こうね」などと声をかけましょう。



生活習慣づくりのための「まほうのかわ」

ま

「おはよう!昨日はよく眠れた?」「学校には遅れずに着いているかな」「学校で元気に過ごせているかな」「給食は残さず食べられているかな」「先生やお友達に挨拶ができているかな」「家の手伝いで何が続けられているかな」などと声をかけましょう。

ほう

「〇時に寝て〇時に起きると朝の余裕があるし、学校でも元気に過ごせるよ」「毎日、気持ちのいい挨拶をしようね」「家のお手伝いで、続けられそうなことを考えようね」などと声をかけましょう。

の

「毎日、いい挨拶ができていね。気持ちがいいね。」「お手伝いを続けていてみんな助かるよ。ありがとう」「家族のためにできることが増えたね。すごいね。」などと声をかけましょう。

かい

「1日の時間の使い方を表に書いてみようか」「早寝早起き、うまくできない原因を一緒に考えてみようか」「一緒に家の仕事をやってみようか」「続けられる方法を一緒に考えようね」などと声をかけましょう。

わ

「思った通りにできないこともあるね」「決めた早寝早起き、毎日挑戦してみようね」「一緒にお手伝いをしようね。こつこつ続けてみようね」「家族みんなでいい挨拶を続けようね」などと声をかけましょう。